

第3章 いじめの経験

1 いじめられた経験といじめた経験との関連

平成 24 年度

あなたのことをお尋ねします。当てはまると思う番号にそれぞれ○をつけてください。

1 されている 2 されたことがある 3 ない

- | |
|--|
| (1)冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われたことがある。 |
| (2)仲間外れ、集団による無視をされたことがある。 |
| (3)軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりしたことがある。 |
| (4)ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりしたことがある。 |
| (5)金品をたかられたことがある。 |
| (6)金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりしたことがある。 |
| (7)嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりしたことがある。 |
| (8)パソコンや携帯電話などで、誹謗中傷（悪口を言われること）や嫌なことをされたことがある。 |

上記の(1)から(8)の項目に、「されている（調査時）」、「されたことがある」を一つでも○を付けた場合に、「いじめられた経験がある」とした。

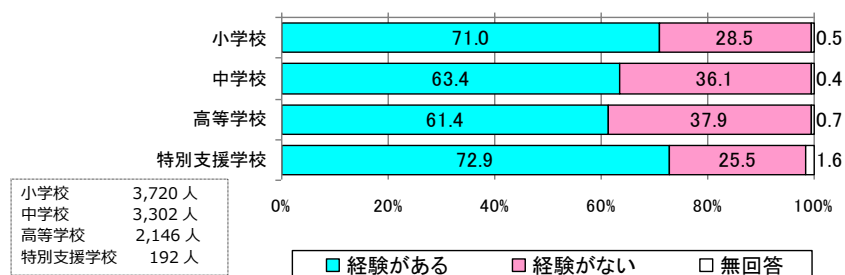
あなたのことをお尋ねします。当てはまると思う番号にそれぞれ○をつけてください。

1 したことがある 2 ない

- | |
|---|
| (1)冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言ったことがある。 |
| (2)仲間外れ、集団による無視をしたことがある。 |
| (3)軽くぶつかったり、遊ぶふりをして叩いたり、蹴ったりしたことがある。 |
| (4)ひどくぶつかったり、叩いたり、蹴ったりしたことがある。 |
| (5)金品をたかったことがある。 |
| (6)金品を隠したり、盗んだり、壊したり、捨てたりしたことがある。 |
| (7)嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをしたり、させたりしたことがある。 |
| (8)パソコンや携帯電話などで、誹謗中傷（悪口を言われること）や嫌なことをしたことがある。 |

上記の(1)から(8)の項目に、「したことがある」を一つでも○を付けた場合に、「いじめた経験がある」とした。

いじめられた経験について



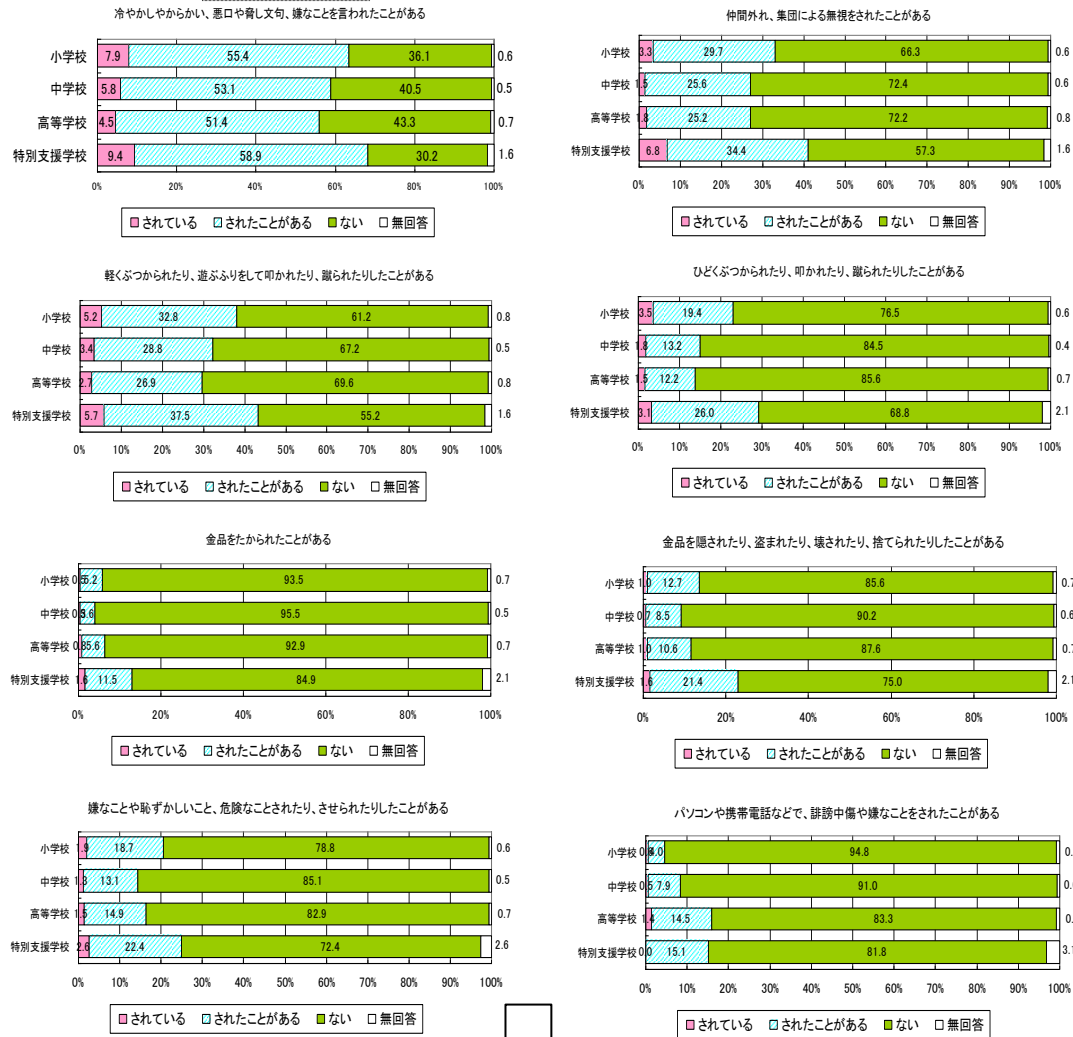
		いじめられた経験			合計人数 ()は%
		ある	なし	無回答	
いじめた経験	ある	4,391 (46.9)	983 (10.5)	21 (0.2)	5,395 (57.6)
	なし	1,790 (19.1)	2,125 (22.7)	7 (0.1)	3,922 (41.9)
	無回答	14 (0.2)	7 (0.1)	22 (0.2)	43 (0.5)
合計人数 ()は%		6,195 (66.2)	3,115 (33.3)	50 (0.5)	9,360 (100.0)

いじめられた経験がなく、いじめた経験もない児童・生徒は2,125人であり、全体の22.7%に当たる。つまり約8割の児童・生徒は、いじめる、いじめられるなど、何らかのいじめの経験があることが分かった。このことは、いじめは、特定の児童・生徒に起こる問題として捉えるのではなく、いじめはどの児童・生徒にも起こりうる問題であると考えて対応していくことが大切であることを示している。

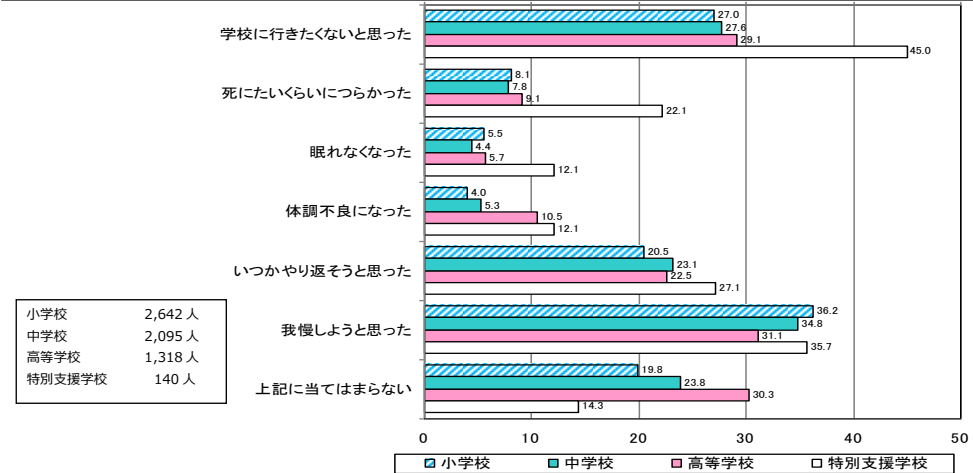
2 いじめられた経験

平成 24 年度

小学校 3,720 人
 中学校 3,302 人
 高等学校 2,146 人
 特別支援学校 1,922 人



(いじめられた経験のあると回答した児童・生徒に) いじめられたとき、どう思いましたか

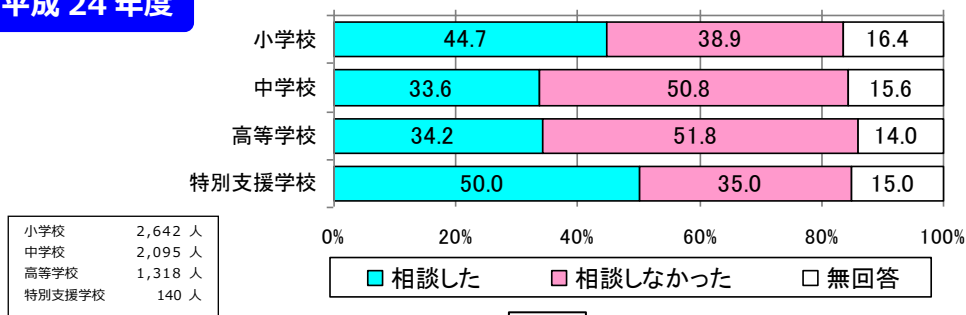


いじめられた経験の中で、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」など言葉によるいじめを受けている場合、全ての校種で高い割合を占めている。いじめられたときの気持ちは、「学校に行きたくない」、「我慢しようと思った」が全ての校種で比較的高い割合を占めた。

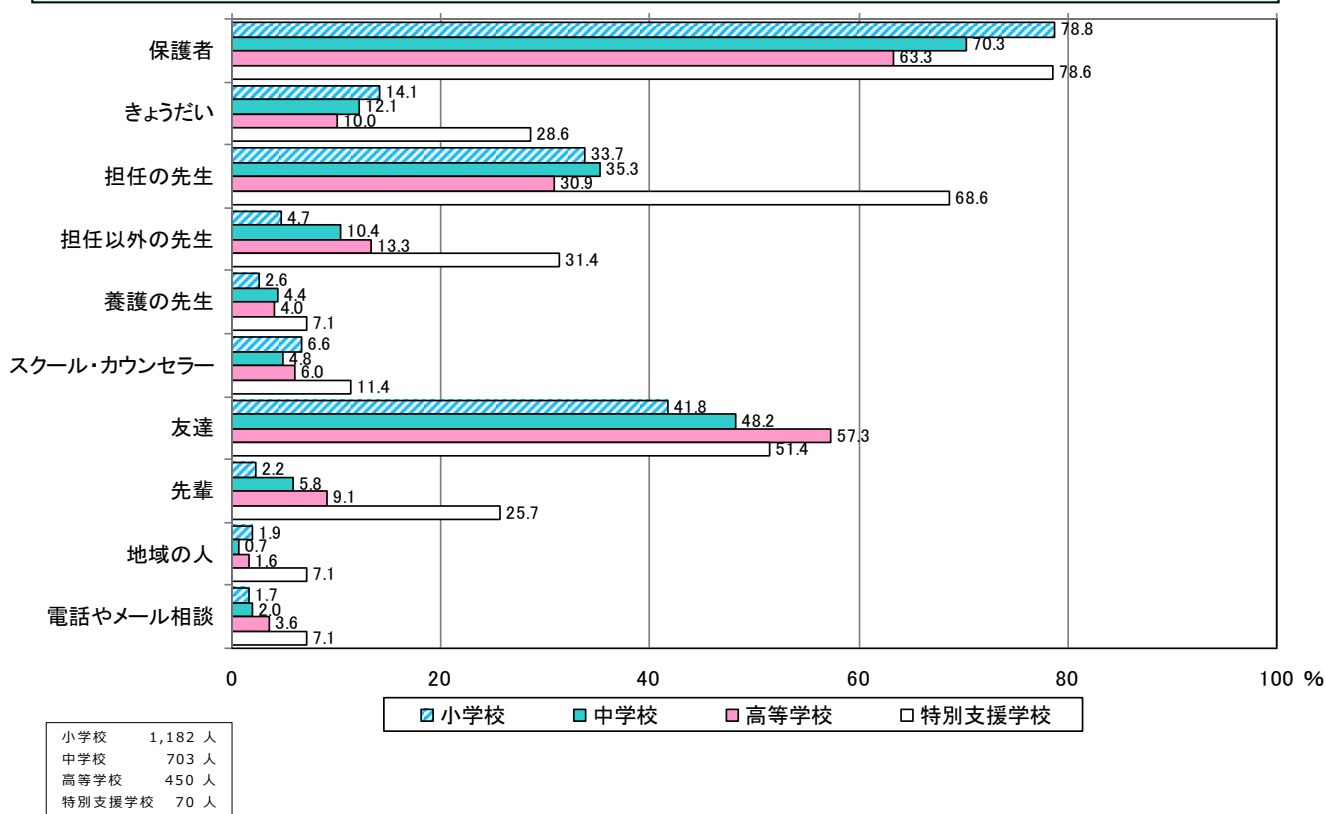
(いじめられた経験のあると回答した児童・生徒に) いじめられたことを誰かに相談しましたか

平成 24 年度

いじめられたことを誰かに相談しましたか



「相談した」と回答した児童・生徒に) 誰に相談しましたか



「いじめられたことを誰かに相談しましたか」については、「相談した」と回答した割合は、小学校の 44.7%で最も高く、中学校、高等学校では約 30%と小学校と比べると低下している。「相談しない」と回答した割合は、中学校と高等学校でともに 50%以上であり、校種が上がるにつれて相談しなくなることが分かる。

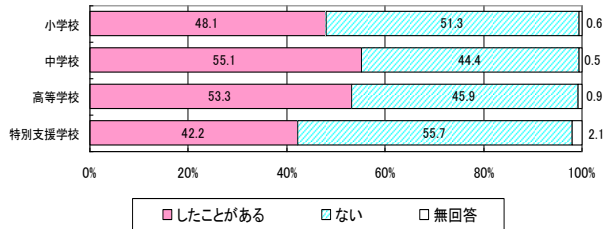
また、「誰に相談したか」については、どの校種も「保護者」が最も多く、特別支援学校以外は、次いで「友達」、「担任の先生」であった。「担任以外の先生」に相談した割合は、特別支援学校の 31.4%を除けば、他の校種は 15%未滿であり、低い割合となっている。学校生活において教員は、児童・生徒の身近にいる大人であるため、担任に限らず教員等に相談しやすい環境の整備が求められる。

3 いじめた経験

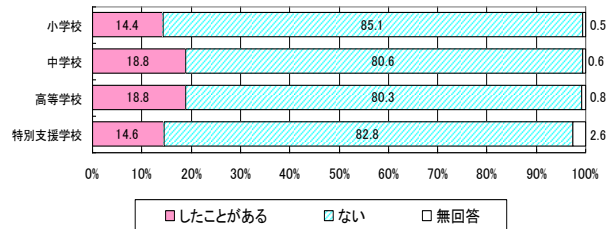
平成 24 年度

小学校	3,720 人
中学校	3,302 人
高等学校	2,146 人
特別支援学校	192 人

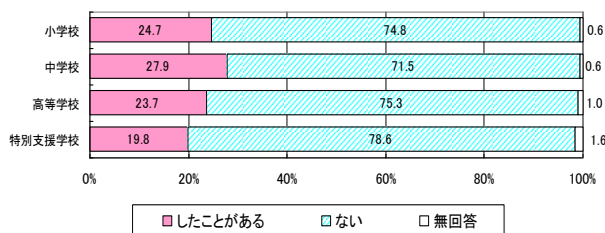
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句を言ったことがある



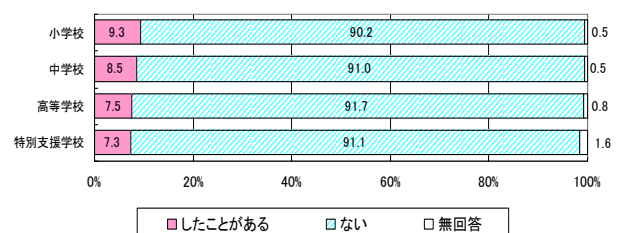
仲間外れ、集団による無視をしたことがある



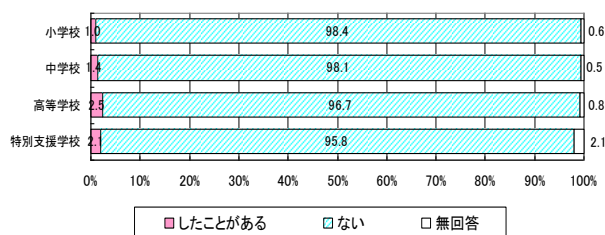
軽くぶつかったり、遊ぶふりをして叩いたり、蹴ったりしたことがある



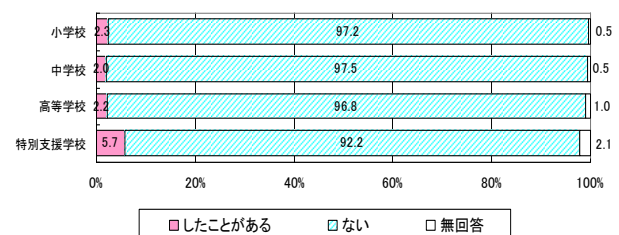
ひどくぶつかったり、叩いたり、蹴ったりしたことがある



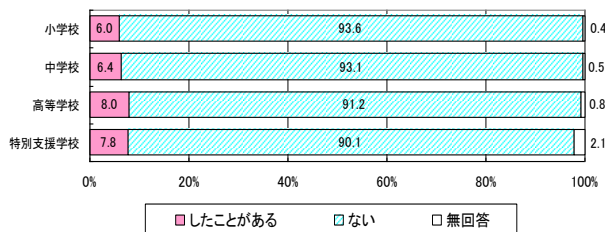
金品をたかかったことがある



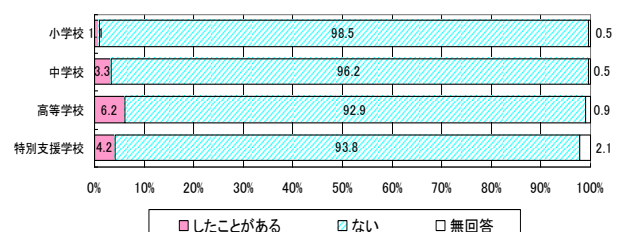
金品を隠したり、盗んだり、壊したり、捨てたりしたことがある



嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをしたり、させたりしたことがある



パソコンや携帯電話などで、誹謗中傷や嫌なことをしたことがある

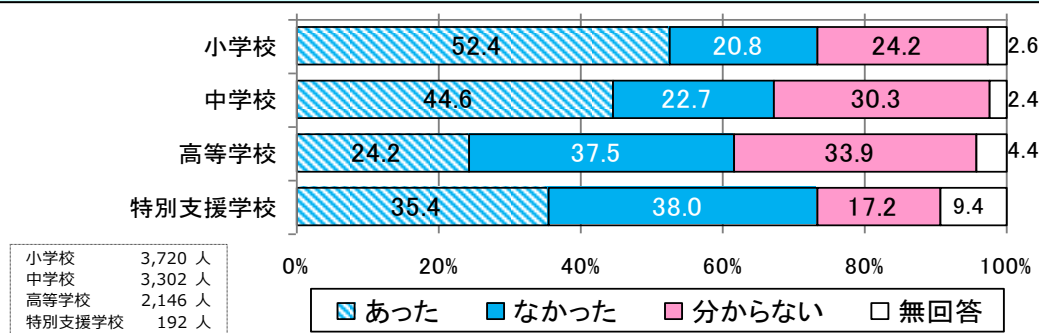


「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句を言ったことがある」の言葉によるいじめが多く、中学校、高等学校はともに 50%を超えている。次に多いのが、「軽くぶつかったり、遊ぶふりをしてたたいたり、蹴ったりしたことがある」であり、どの校種も 19%以上となっている。「仲間外れ、集団による無視」もどの校種も 14%以上であった。金品をたかるなどのいじめは、低い割合となっている。

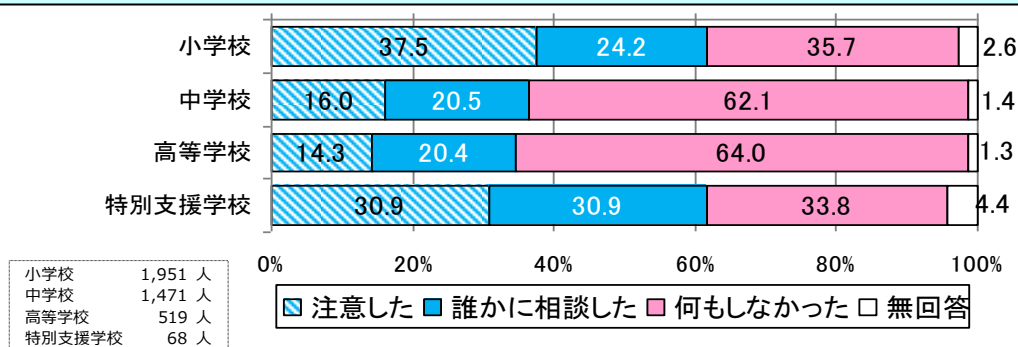
4 いじめを見たり聞いたりした経験

下のようなことを、あなたはクラスで見たり聞いたりしたことがありますか

- ・冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言う。
- ・仲間外れ、集団による無視をする。
- ・軽くぶつかったり、遊ぶふりをして叩いたり、蹴ったりする。
- ・ひどくぶつかったり、叩いたり、蹴ったりする。
- ・金品をたかる。
- ・金品を隠したり、盗んだり、壊したり、捨てたりする。
- ・嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをしたり、させたりする。
- ・パソコンや携帯電話などで、誹謗中傷（悪口を言われること）や嫌なことをする。



（「あった」と回答した児童・生徒に）いじめを見たり聞いたりしたとき、あなたはどうしましたか



「いじめを見たり聞いたりした経験」は、小学校が52.4%で最も多く、高等学校が24.2%で最も低くなっている。ただし、高等学校は33.9%が「分からない」と回答している。このことは、見たり聞いたりしただけでは、それがいじめかどうかを判断することが難しい場合が多くあることを表している。校種が上がるにつれて、表面上では分かりにくいいじめが多くなるのではないかと考えられる。

いじめを見たり聞いたりしたときにどうしたかについては、「何もしなかった」が中学校、高等学校でともに60%以上となっている。いじめ問題の対応では、この「何もしない」児童・生徒が、いじめ防止のために何らかの行動を起こすことが方策の一つとして大事であると考えられる。